

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区整備事業 景観整備方針

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備に向けた景観面からの留意事項等についての意見募集などを踏まえて、この度、同事業を推進するにあたっての景観形成の目標像、さらに6つの景観整備方針と12の景観デザイン原則から構成される「景観整備方針」がまとまりましたのでお知らせします。

1. 当該事業の景観形成の目標像 / 1
2. 対象となる施設や空間とこれを取り巻く
周辺景観との関係の基本的考え方 / 2
 - 1) 6つの景観整備方針 / 2
 - 2) 12の景観デザイン原則 / 3



あすかひめ

たいしくん



ASUKA HISTORICAL NATIONAL GOVERNMENT PARK
国営飛鳥歴史公園

国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所

〒634-0144 奈良県高市郡明日香村大字平田 538

国営飛鳥歴史公園事務所

TEL 0744-54-2662 FAX 0744-54-2772

<http://www.asuka-park.go.jp>

1. 当該事業の景観形成の目標像

1) 目標像の抽出に向けた各種の定義・方針等の整理

【明日香村の歴史的風土について】

明日香村の全域に存在する宮跡・寺跡・古墳等の遺跡、万葉集にうたわれた著名な地形・地物等の重要な歴史的文化的遺産と周囲の環境と一体となって形成される他に類例を見ない極めて重要な歴史的風土のこと。

【国営飛鳥歴史公園の整備方針について】

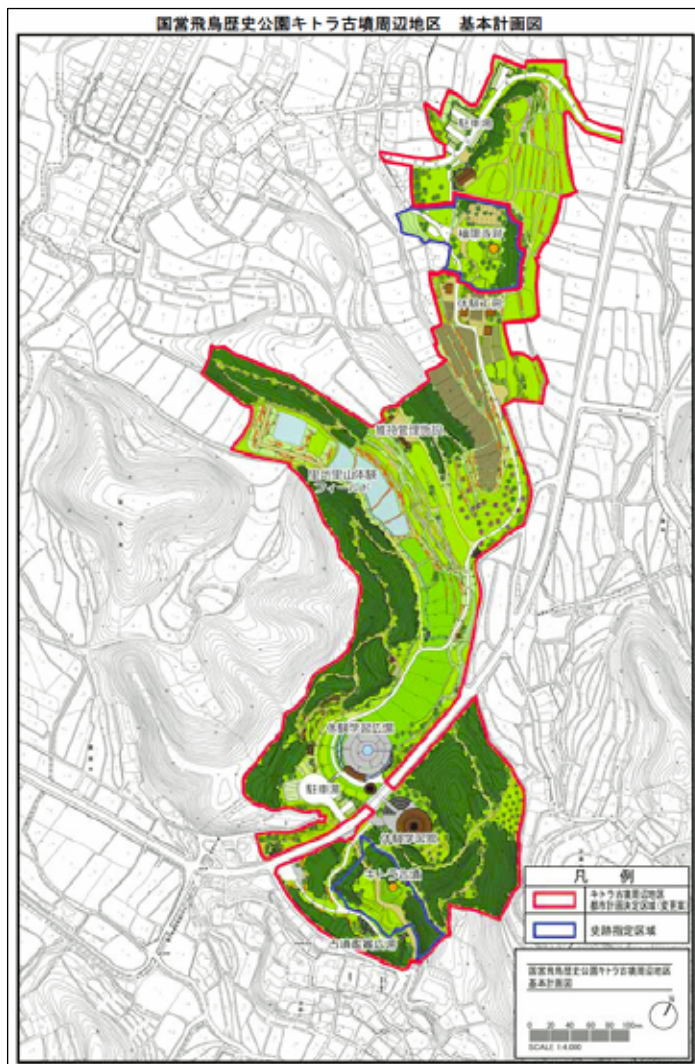
明日香村の枢要な地域に分散形で整備し、周辺の田園・集落、山並み、文化財等と一体となって「日本人の心のふるさと」と言われる明日香村の景観形成に大きく寄与すること。

【事業地（キトラ古墳周辺地区）の整備テーマについて】

キトラ古墳の保存と活用、および檜隈寺（ひのくまでら）跡などの周辺の歴史資産を生かし、東アジアにおける交流で培われた歴史が訴える古代の時空間と生活文化の歴史と共に育まれた風土の中における体験・学習、あわせて交流を通じた地域の活性化に資する公園づくり。キトラ古墳周辺地区基本計画 - H18.3より

2) (上記を踏まえて紡ぎ出される) キトラ古墳周辺地区の景観形成の目標像

周辺の農地・集落・山並み等と一体化したエッジレスな景観形成を基本に、歴史・文化的資産と周辺環境を一体的に保全活用した修景整備や地形変化の活用と樹林修景による多彩な景観を創出し、日本人の「心のふるさとの心象風景」となる景観形成をめざす。



2. 対象となる施設や空間とこれを取り巻く周辺景観との関係の基本的考え方

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区は、公園空間そのものをはじめ、周辺や居住者等と一体となって明日香村の歴史的風土を保全し、地域の模範となる景観づくりの拠点として創り、育てていく公園である。

このため、以下に示す「A. 6つの景観整備方針」と「B.12の景観デザイン原則」を、景観整備に向けた基本的考え方として、取り組んで行く。

1) 6つの景観整備方針

<A-1. 地域の歴史風土形成の模範となる景観づくりを図る>

明日香村全村の歴史的風土性を十分に踏まえ、

- 1) 地域景観の骨格をなす樹林地景観の形成
- 2) 地形特性の活用や、地形と樹林が創出するスカイラインの保全
- 3) 尾根や谷が作り出す地形的な連続性の保全・再生
- 4) 公園内外のゆるやかな景観的連続性の維持
- 5) 地域景観資源（山並み・集落等）の取り込み
- 6) 地形変化を活かした多彩な景観との出会いの創出
- 7) 元々の農空間の持つ細やかな景観・スケール感の継承

等を通じて、地域の歴史的風土形成の模範となるような景観づくりを図る。

<A-2. 公園内の歴史・文化的資産を保全・活用した景観づくりを図る>

明日香村の歴史的風土の上に成立する公園特性を踏まえて、キトラ古墳や檜隈寺跡等の歴史・文化的資産の保全や、周辺と一体となった景観資源としての活用等を図る。

<A-3. ゆるやかに変化する景観づくりを図る>

周辺景観への急激な景観変化（インパクト）を与えないようにし、ゆるやかに変化する景観づくりを図る。

<A-4. 公園と周辺が一体となった景観づくりを目指す>

公園整備と、周辺で展開する社会資本整備との関係を図り、公園と周辺が一体となった景観づくりをめざす。

<A-5. 公園利用者、居住者、公園関係者等の幅広い視点からの意見を大切にする>

公園利用者（来訪者）、周辺居住者、公園関係者（公園・景観等の学識経験者や公園関係業務従事者）等の幅広い視点からの意見を大切にして、景観づくりに取り組んでいく。

<A-6. 幅広い参画による持続性の高い景観づくりを図る>

公園利用者（来訪者）、周辺居住者等の幅広い参画を得て、生き生きとした景観（水田等）を育み、持続性の高い良好な景観づくりにつなげていく。

(参考)「A. 6つの景観整備方針」と「B.12の景観デザイン原則」との関係

[A. 6つの景観整備方針]

A-1. 地域の歴史風土形成の模範となる景観づくりを図る。
A-2. 公園内の歴史・文化的資産を保全・活用した景観づくりを図る。
A-3. ゆるやかに変化する景観づくりを図る。
A-4. 公園と周辺が一体となった景観づくりを目指す。
A-5. 公園利用者、居住者、公園関係者等の幅広い視点からの意見を大切にす。
A-6. 幅広い参画による持続性の高い景観づくりを図る。

[B.12の景観デザイン原則]

B- 1. 地域景観の骨格となる樹林地景観を形成して行く。 B- 2. 地形・樹林が創出するスカイラインを大切にす。 B- 3. 地形的な連続性を大切にす。 B- 4. 公園内外のゆるやかな景観的連続性を大切にす。 B- 5. 地域の景観資源を取り込む。 B- 6. 多彩な景観との出会いを創出する。 B- 7. 細やかな景観・スケール感を大切にす。
B- 8. 歴史・文化的資産を景観資源として活かす。
B- 9. ゆるやかな樹林機能の改善を図る。
B-10. 他事業と連携し、公園と周辺との一体的景観づくりを目指す。
B-11. 幅広い見方や意見を大切にす。
B-12. 活動を通じて景観を育てて行く。

2)12の景観デザイン原則

<B-1. 地域景観の骨格となる樹林地景観を形成して行く>

丘陵地と一体となった「明るく整然とした針葉樹林」や、「彩りのある広葉樹林」等を、地域景観の骨格、また模範となるような樹林地景観を形成して行く。



(参考)地域景観の骨格を成す樹林帯 / 甘樫丘地区

<B-2. 地形・樹林が創出するスカイラインを大切にす>

地形特性を生かした施設配置、地形と樹林が創り出すスカイラインにおさまる施設ボリューム等に配慮して、施設デザインを進める。

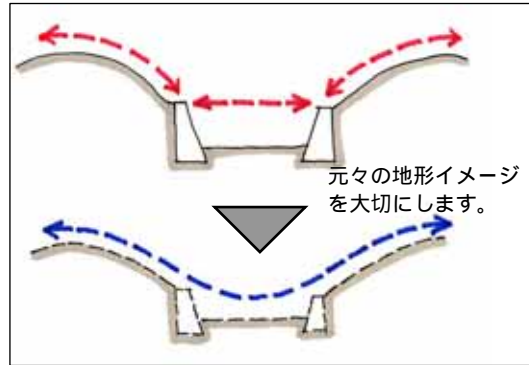
(スカイライン=山や樹林などの空を背景とした輪郭線)



(参考)地形や樹林のスカイラインにおさまる施設配置・規模 / 高松塚周辺地区

<B-3. 地形的な連続性を大切にする>

元々の地形やその変遷を読み取り、尾根や谷がつくり出す地形的連続性を保全・回復するような景観づくりを行う。



(参考)地形的連続性を大切にするイメージ

<B-4. 公園内外のゆるやかな景観的連続性を大切にする>

公園内から農地・集落・山並みが連続して見える、或いは公園と周辺農地・樹林地が一体に見える等、公園内外が景観的にゆるやかに連続するエッジレスデザインを図る。
(エッジレス=公園の外縁部を明確に感じない)



(参考)広場から農地・山並みへ続く景観
/ 高松塚周辺地区

<B-5. 地域の景観資源を取り込む>

公園内から見える山並み・集落等の景観資源を、歴史公園を魅力づける要素として取り込むように、広場、園路等の配置・デザインを工夫する。



(参考)畝傍山を公園風景に取り込む / 甘樫丘地区

<B-6. 多彩な景観との出会いを創出する>

公園内の地形変化を生かし、眺望景観や俯瞰景観等、公園内外に広がる多彩な景観との出会いを創出する。



(参考)広場の俯瞰景との出会い / 高松塚周辺地区

<B-7. 細やかな景観・スケール感を大切にする>

公園内の元々の農空間を構成する棚田・畦等が創出する細やかな景観やスケール感を大切に設計に取り組む。



(参考)元々の棚田を活かす / 甘樫丘地区

<B-8. 歴史・文化的資産を景観資源として活かす>

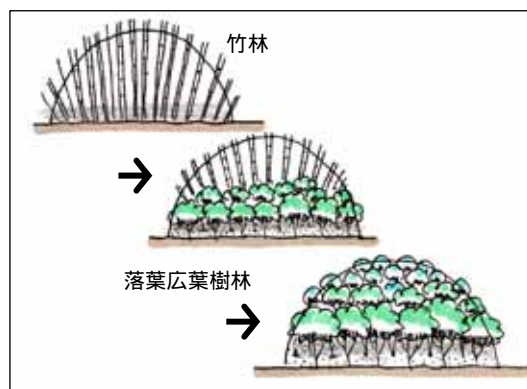
キトラ古墳や檜隈寺跡等の貴重な歴史・文化的資産周辺の修景整備を図り、(それらを)景観資源として活かす。



(参考)中尾山古墳周辺を彩るモミジ / 高松塚周辺地区

<B-9. ゆるやかな樹林機能の改善を図る>

樹林機能を改善する必要がある樹林地の修復にあたっては、景観の激変を避け、ゆるやかに変化する形を工夫しながら進める。



(参考)ゆるやかな樹林機能の改善イメージ

<B-10. 他事業と連携し、公園と周辺との一体的景観づくりを目指す>

公園周辺で展開される道路整備事業やほ場整備事業等との連携・調整を図り、公園と周辺が一体となった景観づくりにつなげて行く。



(参考)道路と公園の一体的デザイン / 高松塚周辺地区

<B-11. 幅広い見方や意見を大切にする>

公園利用者、周辺居住者、公園関係者等の幅広い見方や意見を大切にして、公園の景観整備、運営管理等に活かす。

(*)公園関係者 = 公園・景観等の学識経験者や公園関係業務従事者等



(参考)公園風景調査の撮影ポイント / 高松塚周辺地区

<B-12. 活動を通じて景観を育てて行く>

住民等が参画した活動の展開を図り、生き生きとした景観（水田等）の創出と、それらが良好な形で息長く持続する仕組み等を創出して行く。



(参考)住民参加による田植活動